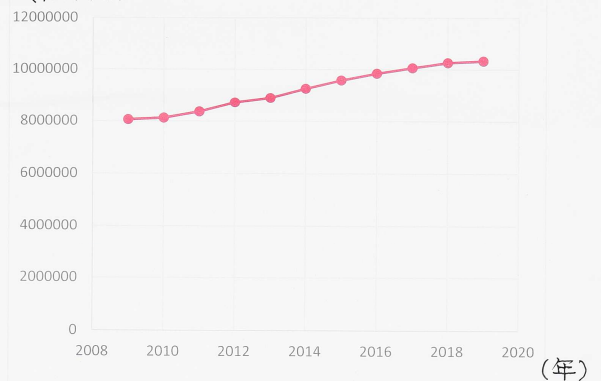


中食の今!

中食とは: 外食と家庭での料理の中間にあり、惣菜や弁当などを買って帰り、家で食べることをいう。

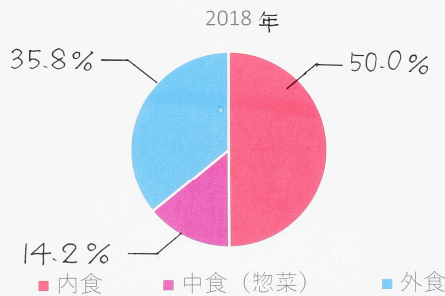
2019年の惣菜市場規模数が10兆3200億円と10年連続で拡大しており、中食の拡大を裏付ける結果となった。

(百万円) 惣菜市場規模 (百万円)

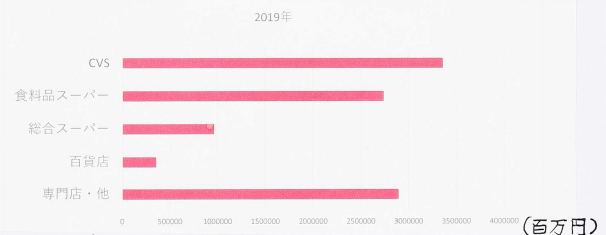


参考文献P2 惣菜市場規模推移より作成

2018年の内食、中食、外食の中で中食が占める割合は約15%でこの3つで比較すると一番低くなっている。

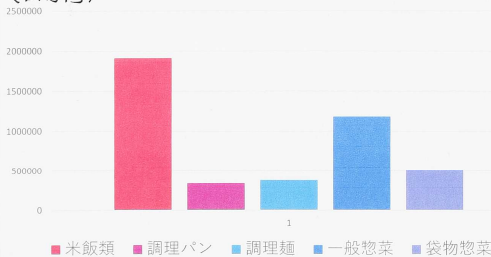


参考文献P3 内食、中食、外食の市場規模とその構成比より作成
10兆3200億円のうち約半数をCVSが占めていることが分かった。また、CVSと専門店、他、食料品スーパーの3業態合計で87.3%を占める。



参考文献P14 惣菜市場規模業態区分より作成

(百万円) カテゴリー別惣菜売上高 (2019年)

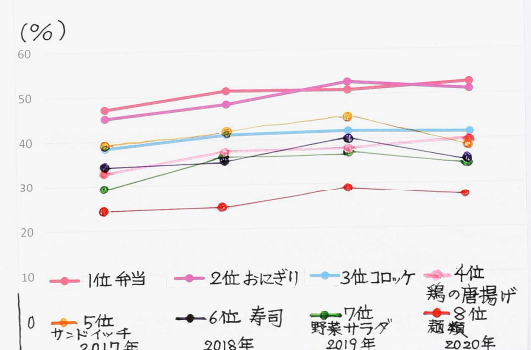


参考文献P27 カテゴリー別惣菜売り上げ状況より作成

調査対象42品のうち、1位、2位を弁当、おにぎりの炭水化物が占め、3位にはコロッケ、4位にはいままで6位だった鶏のから揚げが入ってきた。

カテゴリー別にみると、圧倒的に米飯類(弁当、おにぎり、寿司等)が占めている。

半年間で3回以上購入した惣菜ベスト8 (有秘値)



参考文献P90 種類別利用状況より作成

考察

中食は今、拡大している。その背景に私達の食生活が変化した可能性がある。カテゴリー別や種類別で米飯類が一番売れていて弁当などのお米とおかずが一体化し、そのまま食べられるものなので家で作って食べること、外で食べることが少なくなるだろう。

一般社団法人日本惣菜協会
参考文献「惣菜白書」2020年版